

## 第10回新城市水道料金等審議会 議事録

- 1 開催日時 令和元年6月28日（金）午後1時30分から午後3時まで
- 2 開催場所 新城市役所本庁舎 災害対策本部室2
- 3 議 事 答申について

会長挨拶に引き続き議事へ移行

会長

議題 答申について 事務局の方から説明をお願いします

事務局

<答申について説明>

会長

はい、有り難うございました。今の説明に関して意見、ご質問があればお願いします。

委員

中段下の下水道事業で、今後の人口減少による使用料収入の減少とあるんですが、今現在減少しているんですかね。

事務局

前年度末から公共下水道に、庭野にありましたし尿処理施設から処理水を希釈して投入することになったので、その分増えてはおりますが。

委員

あと、排水区域の拡大もしていますよね。

事務局

はい。

委員

水道は旧簡易水道部分もあるので人口減少はあたるのかなと思うんですが、下水道区域については一定の限られた排水面積を増やしている状況なので、市全体の人口減少という意味とは違う気がするんですが。

事務局

はい。

委員

排水区域を拡大することによって、排水人口は増えているのではないかという気がしているんですが。

どちらにしても、水道事業における給水人口の減少と、下水道事業における排

水人口の減少とちょっととらえ方が違うような気がします。

事務局

はい、有り難うございます。

委員

施設設備の老朽化に伴う更新費用の増大は当たっていると思いますが、流域下水道は昭和50年ぐらいに付設されたところが一番最初だと思うので、30年以上経っているので更新費用が出てくるのはいいんですが、人口減少はちがうような。

事務局

人口減少ではなくて、鈍化している、のびは鈍化しているでいいでしょうか。

委員

今後、下水道区域がどこまで拡大していくかにも関係しているとは思いますが、基本的に市街化区域の外に拡張していますので、利用者人口は増えるはずなんです。市街化区域人口は減ってはいるんですが、調整区域への拡大があるものだから、その分を吸収していくのでは。伸びは鈍化すると思うんですが。

事務局

区域は少しずつ広がってはいるが、利用者人口の伸びが鈍化したというような書き方にします。

委員

基本的に、設楽原PAも受け入れたし、し尿処理水も受けれたので、排水量はその分は伸びたと思うんですが。

事務局

確かにその分は伸びました。

会長

言い言葉があれば言っていただければ。

委員

確認なんです。書かれていた文言で今後の経営のあり方みたいなことがあったと思うんですが、それは独立採算を目指すべきであるとして書いてあるのが一つの考え方です。よろしいんですね、経営のあり方としては。それと、市民負担を考慮し、改定後の料金については3年後に再検討することとあるのは、値下げもある、というふうにもとらえられるんですが、値下げはないですね、今までの会議の内容からすると。

ですので、この書き方だと誤解を招かないかと、審議会に参加しているので、値上げはやむを得ないかなという観点ではあるんですが。

会長

やっぱり、市民の方達がどのようにとらえるか、それに対して私たちがアピールしていくかが一番重要な所だと思うんですが。

事務局

全体で16%ほどの値上げと、次の3年後には再検討して値上げしていかなければならないとお話させていただいたんですが、今後需要も見込まれるのではないかと、経営努力をなにか出来るのではないかと、ということもあったので、値上げの率は抑えられるのではないかと、という含みもあるんですが、値下げと言うよりも上げ幅をご呈示させていただいたものより変動させられるのではないかと、だからもう一度その当たりも含めて検討しなさいという意味合いでとらえていただければ。

委員

わかりました。

会長

ひとつずつ文言を見直していくか、全体的にチェックをしていくかですが。

委員

いわゆる人口減少と、利用者の減少とを考えて、もしくは据え置きみたいな所の違いなんですよ、先ほどのご意見というのは。

事務局

もう少しご意見があるようでしたら出していただいて、ご指摘いただいた下水の部分はまだ一度、人口の減り方、下水区域の人口の増え方を勘案して、微減があるようでしたら文面を変えますので、一度事務局側でご指摘いただいたところを修正して、メール等でお送りいたしますので、その案をもう一度確認して頂いて、最終的には会長さんと事務局に一任していただいた案で答申とさせていただきます。

会長

それでいいですかね。

委員

もし、付け加えて頂けるなら、難しいことをお願いするようにはなるんですが、下水道については整備区域の接続率の向上に努めて頂きたいということも付け加えて頂けたらと思います。

会長

その他意見があれば。皆さん流れとしてはこのような内容でよろしいですかね、現状を考慮すれば料金改定もやむを得ないということで。あと、どういう形で、どのようなことを具体的にお願ひしていくかを答申に盛り込んでいくかなんですが。市民に対して、答申をどのような手段、機会理解して頂くか、その当た

りを考えないとなかなか市民の方達に解って頂けないというのが現状ですので。

事務局

あと、事務局としては付帯事項の中で、市民への情報提供について記載を考えているんですが、当然広報誌には掲載するんですが、代表区長会議があるものですから、そこで区長さんに説明をして、区長さんを通じて身近な方から伝達していくなどを考えているんですが、効果的な広報の仕方があればご提案を頂ければと思うんですが。

委員

改定の時期はいつ頃でしたかね。

事務局

令和2年の4月1日です。

委員

12月議会になりますか。

事務局

9月議会になります。12月ですと周知期間が短くなりますので。

委員

前回、簡易水道の料金改定の時に、対象世帯には資料を全戸配布した例があったんですが、ほとんどみんな見ていないというか、みんなが関心を持つような広報をして頂けたらと。

委員

なるべく費用の掛からないイベントとかで活動する方法もあると思うんですが、うちでやる場合には子供を巻き込んでいるんですね。子供達にリサイクルはこうですよとか、そのようなイベントをやってまして、費用も意外とかからなくて参加してくれた子供達にお菓子をプレゼントしたりする程度ですむものですから。そういうような子供さんをからめたイベントを企画されても面白いのではないかなと思うんですが。

たとえば、今回我々が施設を見学させてもらったんですが、見ていてもすごいなと思ったんですよ、普段は見れないところですから。子供だったらもっと関心を持ってもらえるような気がしますし、水道がどのように利用されているのか一連のサイクルが解りやすく教育的な観点でやれるようなイベントだったら面白いのかなと思いますけど。

事務局

有り難うございます。

会長

事務局の方でも、広報は水道週間でやっているんだけど、それが行政だけではなくて企業さんにも協力してもらって、子供達も入れて水についてのイベン

トみたいなものを作って頂けたら、今すぐとは言いませんので検討して頂くと。水との関係も解ってもらえるし、協力して頂いた企業さんのことも知ってもらえるし、子供に教えるというのが将来にもつながりますし、施設を見学してもらえば、初めて水がどうやって出来上がるのか解って感激されるのではないかなと、うまく子供達に伝えることが出来ればいいなと思っているんですが。

委員

うちも工場の見学会をやっていて、工場としてこう言う仕事をしていて、こういう所を大事にしなければいけない、環境対策としてこういうことをやっていますよと伝えているんですが、前回小学校へ行って水道教室をやっていとおっしゃっていたじゃないですか、よその所で同じようなことをやっているのをテレビでみたんですが、テレビでみた情報はインパクトがありますし、それを親が見ていると子供に聞いて親が関心を持ったりするので、メディアにお願いするのも一つの方法だと思います。

委員

新城企業展に参加しているんですけど、そこには中学生、高校生が千人くらい参加するんですけど、そういった所にブースを出してPRするのもいいでしょうね。

会長

地域の実情に合った広報というのがあると思うんですけども、豊橋、豊川は家と家の距離が近いので水道管の距離も短くて済むんですが、新城だと隣の家までかなりの距離がある場合も多々あるので、そういった所をビジュアルで見せたら解りやすいと思うんですが。そう言った条件の差があるので、料金の差も出てくると、解りやすく伝えることができるのかなとも思うんですが。

この会議も10回開催して、委員さんもお忙しい中集まって頂いて、意見を出してもらいましたので、今後も見守っていただけたらありがたいなと。

委員

今後イベントをやるのであれば協力させていただきます。

会長

他にご意見はありますか、よろしいですかね。

事務局

今日皆さんから頂いたご意見を踏まえて、修正したものをお送りいたしますのでよろしく願いいたします。

会長

有り難うございました、皆さんいろいろな意見を出して頂いて、今後もまた皆さんと一緒に考えていければと思っております。長い期間、10回の会議お付き

合いただき、有り難うございました。